

社協だより 萩

Vol. 42

2012
2/1



**サロンで広がる
ふれあいと支え合い**

地域の交流とふれあいをより深め、普段の支え合いにつなげるため、各地でふれあいサロンが開催されています。

山田町内会では、関係者が地域の福祉問題を整理し、独自に福祉協力を配置、民生委員と連携して町内会に福祉部を設置しました。そして、福祉部によるひとり暮らし高齢者の方への声かけ活動から、このサロンが始まりました。

こうした活動が、温かい地域づくりとなっていくでしょう。



身近な地域で広がる 見守り・支え合い活動

本会では、「地域で ふつうに くらせる しあわせづくり」を進めています。
今年度、地域支え合い体制づくり事業により、民生委員や福祉員などによる見守り活動やふれあいサロン、町内会福祉部活動など様々な活動が広がっています。

見守り・支え合い活動を応援

高齢化や家族の小規模化が進む中、地域でふつうに暮らしていくためには、身近な地域での支え合いは、今後もより重要なものになります。

そして、地域の福祉活動を進めるためには、町内会や民生委員、関係機関との連携が大切です。

そこで、こうした地域のふれあい活動や見守り体制づくりなどに取り組む町内会などに対して、補助を行っています。（上限3万円）

地域福祉活動を進めるポイント

■地域の福祉問題に目を配る

地域で生活のしづらさを抱えている人、気になることなど身近な地域の福祉問題を把握しましょう。

■共通認識

把握した福祉問題は、民生委員などの関係者に連絡し、共通認識を図りましょう。地域住民をはじめ関係

者が協働して、支援活動を行うことが大切です。

■つながりづくり

ふれあいサロン活動や三世代交流行事などを通して、ともに支え合い、支えられ合う「つながり」づくりを進めましょう。

■自ら参加できる「場」づくり

福祉活動を幅広く継続して展開するためには、多くの方の理解と協力が必要です。地域の皆さんの理解と参加を図りながら、自分たちの地域を良くする活動を進めましょう。



認知症の人のための徘徊・見守り SOSネットワーク

85歳以上では、4人に1人にその症状があるといわれている認知症。人口の3人に1人が65歳以上の高齢者である萩市においては、今後ますます認知症のある方も増えてくると予測されます。こうした中、もし徘徊などで行方不明になったとき、地域の皆で協力して早く発見しようとする仕組みづくりが進んでいます。

多くの目で少しでも早く

認知症がある方の中には、自宅の場所や帰り道が分からなくなり、自宅に帰れなくなる方もいます。実際に平成22年には、20件余りの高齢者

の行方不明事案がありました。

このネットワークは、行方不明となった場合に家族や警察だけではなく、地域の皆で協力して、より早く発見し、ご家族のもとに帰れるようにする仕組みです。

萩市防災メールを活用

萩市防災安全課から気象警報、防犯情報などを配信しています。この防災メールに行方不明者情報も配信しますので、ぜひ登録してください。そして、「もしや」と思う人を見かけたら声をかけ、萩警察署に連絡してください。

☎ 26-0110



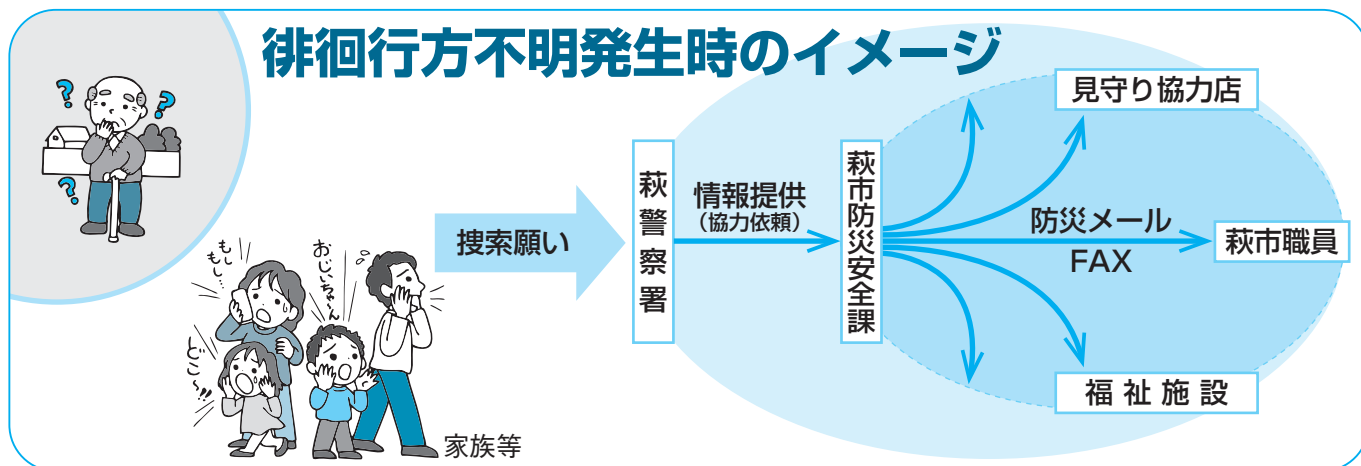
見守り協力店（事業所）

萩市からFAXなどで情報提供のあった徘徊行方不明者のことを仕事の中にそれとなく意識していただき、見かけたら（似た人でも）萩警察署に連絡していただくものです。ガソリンスタンドや薬局、商店など少しでも多くの事業所の協力（登録）をお願いします。

徘徊模擬訓練

1月22日、徘徊役の方が平安古東区を歩き、このネットワークを使って情報発信し、見かけたら声をかけ、保護する訓練が行われました。実際の場面での声かけの難しさと、日頃からの地域のつながりの大切さが改めて分かりました。

徘徊行方不明発生時のイメージ

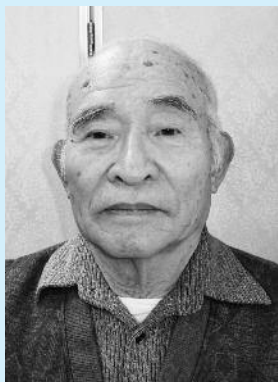


地域の子らのために

西岡 好徳さん
(福栄・生野／75歳)

教職を退いて、こちらに来て16年になります。大阪では、府と河内長野市の青少年カウンセラーや地域の子ども会の役員、指導員をし、学校では教育相談をしていました。それで今でも学校などから頼まれると竹笛や竹とんぼ、凧などの作り方、こまの回し方を教えています。また、今は竹笛を東北の子ども達に送っています。子どもが好きだからしているのですが、逆に子ども達から元気をもらっています。

私は、学校に好意を持っています。子どもの時は勿論、奉職してから私に成長の場を与えていただき、しかも給料までいただいたのですから。だから、何かをしたいのです。



お役に立てれば

長田 芙佐子さん
(田万川・小川22区／76歳)

57歳で地元の縫製工場を退職した後、ボランティアグループの小川ふたば会や婦人会ニットサークル、食生活改善推進協議会に参加しました。初めは、何かボランティア活動をしたい、地域の人たちとの関わりを持ちたいという簡単な気持ちからでした。現在は、大世帯の小川ふたば会の会長のサポート役として、サロンの企画や給食サービスなどのお世話をさせていただいています。こうした中で、地域の皆さんのお役に立ちたいと思うようになってきました。

これからは、健康体操応援隊や健康貯金に参加することで、私自身の健康と認知症予防のために、もっと積極的に活動を行きたいと思っています。



地域の声からサロン再開

岩本 憲子さん
(川上・立野／65歳)

現在、民生委員として地域の一人暮らし高齢者等を訪問することがあります。お会いすると、「最近では皆で集まることが随分と少なくなり、お互いに顔を合わせることが少なくなったね〜。たまには、集まって話でもするといいね〜。」という声をよく聞いていました。

そこで、保健推進員さんと話し合い、以前この地区でも行っていたサロンを再開することとなりました。初めは、無理せずにおしゃべりだけで、これからゲームや歌、食事作り、ちょっとした旅行にも行ってみたいと思っています。

地区の皆さんと一緒に、サロンを楽しく続けられたらいいなと思っています。



地域で自分らしく楽しんで

林 喜與子さん
(玉江2区の1／73歳)

私の住む団地には、移住してくる方や高齢者が多く、ご近所同士顔を合わせる機会が少なくなりがちです。

そこで、外出や交流の機会が少ない方も、「目の前のふれあいセンターなら行ってみよう」と誘い合って参加できるように、月1回の井戸端会議クラブを始めました。歌や食事などで皆と自由に過ごす時間が、生きがいや人生の楽しみになればと願っています。皆さんもこの日が待ち遠しいようですが、何より私自身も楽しんでやっています。

機会があれば、他の団地の方々にどんな見守り活動や交流活動をしているのか聞いてみたいです。

いくつになっても、いま住んでいる地域で、自分らしく楽しみながら過ごしていきたいと思っています。



川上



年に3回開催する老人クラブの料理教室。女性会員がリードしながら、段取りよく進み、出来栄も味も満足できていました。

旭



明木中学校の生徒・保護者・先生で、認知症の方にどのように対応したらよいか、輪になって知恵を出し合いました。



萩



月1回のふれあいサロン、大島やすらぎ会。簡単な手さげバッグ作りでしたが、笑い声の絶えないにぎやかな時間でした。



むつみ



J A 高俣支所の購買に、誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場が新設されて1年。顔を合わせ、ゆっくりくつろげると好評です。



須佐



弥富地区でのしめ縄作り。老人クラブの皆さんが悪戦する児童・生徒に温かく指導され、交流を深めました。

福栄



健康・福祉まつりでの認知症サポーター養成講座。よく見聞きする場面の寸劇を通して、認知症の方への対応方法について理解を深めました。

善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
萩			
井原 崇	濁渕	父／徹	金一封
宇野 一男	三見浦5	母／山下スミコ	金一封
吉村 正義	越ヶ浜6区の2	母／マツコ	金一封
岡本 誠	御許町の1	祖母／テル子	100,000円
安藤 重三	堀内1区の1	妻／百合江	金一封
羽倉 國夫	川島1区の1	母／テル子	金一封
宮田 俊哉	細工町	父／貞俊	金一封
藤田 信夫	青海	妻／タツ子	80,000円
古見 嘉利	中小畑の2	母／ユリコ	金一封
長岡ヨシ子	北古萩1区の1	夫／和男	金一封
横田スミ子	三見手水川	弟／健次	金一封
竹下 和美	三見吉広	姉／保子	金一封
柿並 清	東田町西区の1	母／静子	金一封
村川 廣太	唐樋町の3	母／フヂ子	金一封
岡 淳一	後小畑の1	祖母／富士江	金一封
木村 武雄	上野の2	妻／マサコ	金一封
坂倉惣太郎	東田町西区の1	母／道子	金一封
尾崎 俊一	堀内1区の1	母／シゲ子	金一封
中山美智枝	香川津の1	夫／忠之	金一封
河村 敬之	金谷の2	母／洋子	金一封
三村 洋子	三見河内	夫／久米洋	200,000円
岩本 紘	東浜崎1区の2	母／スミ子	金一封
石丸 竹子	川島1区の2	夫／元造	金一封
伊藤 茂子	青海	夫／雄三	金一封
田中 真治	熊谷町の1	妻／温子	金一封
阿武 毅	新川南の1	兄／克郎	金一封
平井 岩雄	大井港浜の1	妻／初江	金一封
金子 芳子	城東南区の1	夫／利祐	金一封
角屋 和久	玉江浦2区の2	母／照子	金一封
香原 和雄	樽屋町	母／ヒロコ	金一封
松浦智津枝	玉江浦1区の1	夫／博	金一封
堀 廣明	三見明石	母／光代	金一封
阿武耕三郎	三見市	伯母／浪子	金一封
池永 典男	平安古西区の2	母／百合野	金一封
大橋 正佳	防府市田島	父／良雄	金一封
鬼村 良子	江向3区の3	夫／和昌	金一封
山川テル子	後小畑の2	夫／公臣	金一封
木原 彦一	大井港中	妻／悦子	金一封
黒川 清志	恵美須町の1	母／アキコ	金一封
坂田 時男	見島3区	長男／修一	金一封
元田 幸一	川島2区の2	妻／亀子	金一封
吉賀婦美子	無田ヶ原口の2	夫／孝平	金一封
原田 吉大	玉江2区の1	母／フサ	金一封

本人の承認を得たもののみを掲載しています。
指定寄付は、掲載していません。

※平成23年11月1日～12月31日受付分（敬称略）

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
川 上			
廣井 節子	玉江3区	夫／保治	金一封
岡 上			
岡 文枝	野戸呂	夫／光一	金一封
阿武 潮美	立野	夫／利法	金一封
柴田 清治	白上	母／スギノ	金一封
能美 毅	山田	姉／保子	金一封
吉富 健司	野戸呂	父／正幸	金一封
恩村 勲	三徳	父／俊治	金一封
田 万 川			
松原 武子	戎二	夫／峰夫	金一封
須郷 恵子	小川16区	夫／邦彦	金一封
室谷直三郎	下中町	妻／文香	金一封
椋木 正徳	戎一	母／イチエ	金一封
藤井 幹雄	松崎	父／靖尋	金一封
加藤 幸子	小川5区	長男／延弘	金一封
む つ み			
立野 隆三	辻山	妻／美代子	金一封
吉岡 哲哉	岸高	弟／修	金一封
岡崎テルミ	花見	夫／秀雄	金一封
永安 基晃	山口市宮野	母／文子	100,000円
椿 安志	上市	祖母／アヤ	金一封
須 佐			
野原 光雄	高山	父／美張	金一封
津守 康隆	野頭	父／福文	金一封
中島八重子	島根県益田市	父／西岡綱夫	金一封
椋木 司良	弥富10区	父／吉人	金一封
高田 隆生	下三原上	母／シナ子	金一封
中村喜和子	高山	夫／博	金一封
奥山 隆生	弥富11区	母／スミエ	金一封
原 隆子	松原	母／千代子	金一封
栗山 恵	弥富10区	夫／孝夫	100,000円
横山喜久江	山根丁東	母／瑞子	金一封
大田 保	松原	妻／紀代	金一封
田村 守生	下三原上	母／サツエ	金一封
旭			
井上 清美	高津	母／アキ子	金一封
齊藤 敏和	下横瀬	父／政人	50,000円
三浦 真秀	佐々並市	父／卓也	金一封
林 信之	成川	父／重信	100,000円
福 栄			
波多野律子	金峯	夫／佳也	金一封
秋枝 勲	黒川	父／秀雄	金一封
原 良圭	栗原	父／浩爾	金一封
増野 和幸	向山	母／早苗	金一封

一般寄付

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
萩			
匿名			3,000円
吉光有美子	大島赤穂瀬前	一膳寄付	金一封
ガールスカウト山口県第18団			10,000円
匿名			5,704円
匿名			3,719円
川上			
金子千津子	杣木谷	見舞返し	金一封
匿名			30,000円

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
田万川			
吉田 隆	八幡	見舞返し	金一封
むつみ			
フレンズむつみ			金一封
須佐			
法隆寺	浦中		金一封
旭			
さくら会銭太鼓佐々並教室			金一封

(香典返し・一般寄付合計 96件4,813,515円、内指定寄付 27件767,600円)

物品寄付

内容	ご芳名
萩	
車両1台	山口県生命保険協会加盟各社職員一同

内容	ご芳名
みかん1箱	徳長文夫
みかん1箱	岡村商店

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

国民たすけあい共同募金額の中間報告

平成23年度も国民たすけあい共同募金運動にご協力いただき、ありがとうございます。皆様から寄せられた募金については、萩市の地域福祉活動推進のために使われます。

単位：円

地域	一般募金	歳末たすけあい募金	合計
萩	6,919,363	6,294,669	13,214,032
川上	523,308	234,154	757,462
田万川	1,440,762	540,610	1,981,372
むつみ	901,223	427,486	1,328,709
須佐	1,113,809	403,671	1,517,480
旭	832,056	375,349	1,207,405
福栄	917,030	471,328	1,388,358
合計	12,647,551	8,747,267	21,394,818

(平成24年1月15日現在)

寝具消毒乾燥サービス事業

日常的に使用する寝具を洗濯・消毒・乾燥することにより、清潔で快適な生活が過ごせるよう支援します。

●対象者

自力または他の福祉サービスの利用、家族の支援などによっても寝具の衛生管理が困難な方

●利用料

1枚あたり掛毛布1,470円、敷布団1,470円、毛布580円

●申請締切 2月末

●問合せ

萩市社会福祉協議会本所・各事務所、各地区の在宅介護支援センター

見守り・支え合いの話し合いに補助

日常的な見守り・支え合い体制の充実を図るため、その問題について地域で解決方法を話し合ったり、具体的な活動を行う町内会などに対して補助します。

●対象となる話し合い・活動例

- (1)一人暮らしの高齢者や子どもの見守り、高齢者の交通事故防止を行うためのもの
- (2)避難勧告や災害時の災害弱者を支え合うためのもの
- (3)高齢者の通院や買い物を支え合うためのもの
- (4)子育て中の親子、障がい者、高齢者などを対象とした「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げなど

●補助額 30,000円(平成23年度のみ)

●申込み 本会備付の申請書を提出(随時、受付)

●問合わせ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

編集室

認知症は、脳の病気。病気だから、誰もがなってしまう可能性があります。もし自分が認知症の本人やその家族の立場となり、自宅への帰り道が分からなくなったとしたら…。

萩市防災メールに、一人でも多くの方の登録が必要です。たくさんのことはできないかもしれませんが、皆が気に留め、「防災メール見た?」と地域で声をかけ合い、もしかしてと思ったら少し勇気を出して声をかける。それが少しでも私たちの安心につながるのではないのでしょうか。(た)

佐々並ひなまつり

日時 2月28日(火)～3月4日(日)

場所 旭活性化センター



地域の元氣と出会うの場づくり

佐々並ひなの会 代表 藤家 幸子

幼稚園に勤務していた頃は、日常の挨拶を交わすのが精一杯でした。退職後、ゆつくり地域を見渡してみると、出会う人や子どもの姿を見かけることも少なくなっていました。何ともいえず寂しく、寒く厳しい冬が、とても長く感じました。

この冬の間に、「元氣かいね」と互いに声をかけ合えたらいいな、そんな場ってどうしたらできるのだろうか、あれこれ考えていました。子どもが成長すると飾ることの少なくなるおひなさまに一役かかってもらったらいいんじゃないかと、**佐々並ひなまつり**を五年前から始めました。公民館を一週間借りて、お家で眠っているおひなさま(明治時代から最近のものまでさまざま)、手作りのさげもんなどを、飾っています。

また、健康メニューの復伝など日替わりの簡単なお食事を準備し、一品一〇〇円でふるまっています。期間中には、オカリナ、大正琴のグループにミニコンサートをお願いしたりして、子どもから高齢者まで誰でも参加できるようにしています。毎年、佐々並の方以外にも訪ねてくだ

さる方が増え、会場が職場の小さな同窓会になったりと、一年に一度の再会の場にもなっています。大手新聞社の記事に取り上げてもらったこともあり、県外の方とのつながりもできました。

ひなまつりの開催がきっかけで発足した「佐々並ひなの会」では、月一回メンバーが手芸で小物を作ったり、春には桜をライトアップしての夜桜観賞会(観桜会)で、お抹茶の接待をしています。「お世話する人が楽しくなければ、来られる人も楽しくない」をモットーに、メンバーに感謝し、楽しく活動しています。

地域の元氣を支えることができるのは、地域に住んでいる私たちです。小さなひなの会の活動ですが、メンバー一人ひとりの声かけで地域に大きな輪が広がり、会場の和となっているのではないかと思います。そんな会場に設けているのが「ひと声メッセージ」。メンバーの一番の元氣の源です。

